

# 令和7年11月定例会会議録

(令和7年11月21日)

八代市教育委員会

## 八代市教育委員会 11月定例会会議録

- 【開催日】 令和7年11月21日（金）
- 【場所】 八代市役所本庁4階 403会議室
- 【出席者】 中 勇 二 教育長  
渡 邊 裕 一 教育委員  
澤 村 互 寛 教育委員  
丸 山 智 子 教育委員
- 【出席職員】 田 中 智 樹 教育部長  
鋤 田 敦 信 教育部次長  
下 津 恵 美 教育部次長  
押 方 佐地子 教育政策課長  
加 賀 真 一 学校教育課長  
稲 本 健 一 教育部理事兼教育施設課長  
泉 宜 孝 生涯学習課長  
中 村 裕 一 教育サポートセンター所長  
田 島 良 洋 博物館未来の森ミュージアム副館長  
植 田 浩 之 未来の学校づくり推進室長  
松 岡 長 武 教育政策課長補佐
- 【事務局】 池 田 拓 次 教育政策課主幹兼教育政策係長  
浦 本 美代子 教育政策課参事

### （審議事項）

#### <議案案件>

- ① 八市教委議第28号 令和7年度第3期教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価報告書（案）について

#### <報告案件>

- ① 報告第21号 施設整備計画の事後評価について
- ② 報告第22号 令和6年度八代市学校・子ども教育応援基金事業の取組状況について
- ③ 報告第23号 令和8年度八代市学校・子ども教育応援基金事業（案）について
- ④ 報告第24号 八代市議会令和7年9月定例会について（一般質問要旨・答弁書）【教育委員会関係分】
- ⑤ 報告第25号 令和7年度9月補正予算の概要について
- ⑥ 報告第26号 令和6年度決算審査における質疑・要望等の概要について

### 1. 開会

（午後2時00分 開会）

2. 会議録承認 令和7年9月定例会

中教育長

〈教育長職務代理者の指名〉

委員2人の就任（再任）に伴い地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定による教育長職務代理者に渡邊委員を指名

3. 教育長報告

前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

4. 議題

〈八市教委議第28号〉 令和7年度第3期教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価報告書（案）について

押方教育政策課長

8月定例会において教育委員の方々からいただいた意見及び、その後9月及び10月に開催した外部評価委員会において外部評価委員の方々からいただいた意見を取りまとめ、令和7年度第3期教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価報告書を作成した。

資料により説明

渡邊教育委員

概要がコンパクトにまとめてあるので、この中からいくつか質問や意見を出したい。

基本方針3 豊かな心の育成において、いじめに関する調査について記載がある。子供たちの発するサインを見逃さないような本市独自の方法を見出し、いじめの根絶に向けた活動に期待するという意見があるが、これについてはどのような形で本市独自の方法を考えるのか。

基本方針6 9年間を見通した「八代型小中一貫・連携教育」の推進について、意見である。私たちはC日程の学校訪問に参加するが、学校の意見を伺うなかで、小中一貫・連携教育について、校区で行っている取組についての話がある学校、ない学校がある。来年度以降、これについて強化するという意味で、例えば、中学校区、四中校区であれば、八千把小と四中を同じ年度にC日程の学校訪問があると、いろいろな意味で指導がしやすく、徹底するのではないかと。学校訪問の順番についても、工夫をしてはどうかと感じた。

基本方針18 災害からの復興推進・教訓の継承において、キッズチャレンジ事業について、「くま川教室」の子供たちが参加できる企画を検討してほしいというような意見が出ていたが、ぜひそのような形で検討していただくと、不登校対策に多くの課が関わり、効果も大きいのではないかと感

じた。

加賀学校教育課長

いじめ解消率について、いじめ解消の条件が、いじめの行為が行われていない、本人がそのような負担を感じていない、この期間が一定期間（3ヵ月程度）継続しているということがあり、この条件では年度内にいじめの解消が100%とはならない。市独自の方法として、12月までに認知したいじめが、年度内に解消されたかという視点で見ていくことで、いじめの解消率を100%に近づけることができると考えている。1月から3月に認知したいじめについては、次年度として、翌年1月から12月までの認知の件数について解消率を出したいと考える。

澤村教育委員

基本方針12 地域における教育力の向上について、まなびフェスタが一つの指標としてあり、まなびフェスタの来場者と参加団体の数を指標としてある。まなびフェスタだけを指標としてよいのかという疑問が以前からあったが、まなびフェスタの来場者が増え、参加団体が増え、イベントが盛り上がり、地域の教育力が評価されると思う。まなびフェスタはよい取組であると思うので、マンネリ化せず、少しずつ変化をしていかなければならないと思う。意見にもあったように、ぜひ子育て世代の参加を増やすような工夫などを検討していただき、変化を付けながら、参加者数等が増えるイベントになるとよいと思う。

教職員の人材育成について、学級づくりや授業づくりに困り感を持っている先生に対して、教育サポートセンターが直接、また継続的に支援をされているということは、たいへんよいと思う。教職員の人材育成については、いろいろな研修があるが、学校訪問においても、授業づくりに困っておられる先生や学級づくりに困っているのではないかと思われる学級が見受けられるので、直接、先輩の先生方のサポートを受けられるということは、たいへん心強いと思う。先生方も自分で努力したり、同僚に悩みを打ち明けたり、先輩に相談したりされると思うが、皆さん忙しいので遠慮される先生もいると思う。この事業はぜひ拡げていただき、先生に寄り添った指導をしていただけると、人材育成に繋がると思う。

#### 【八市教委議第28号 承認】

<報告第21号> 施設整備計画の事後評価について

稲本教育部理事兼  
教育施設課長

令和4年度から令和6年度の3年間で、文部科学省所管の学校施設環境改善交付金を活用し実施した事業について、自己評価の結果を報告するものである。

資料により説明

- 丸山教育委員 評価結果は良好であり、整備も前倒しで進み、たいへんお疲れさまでした。  
アンケートについて、教職員、保護者それぞれ5名から徴取したとのことだが、5名の保護者はどのようにして選ばれたのか。
- 稲本教育部理事兼  
教育施設課長 校長先生や教頭先生に選んでいただいた。
- 丸山教育委員 保護者の方は機会がないと学校に入らないので、整備状況がどうなっているのか、前と比べてどうなったかの判断ができる保護者は限られていると思う。先生方の推薦で、整備状況を理解されている保護者を選ばれたと理解してよいか。
- 稲本教育部理事兼  
教育施設課長 そのとおりである。
- 中教育長 対象の5つの学校は、実際、整備を行った学校のなかから選んだのだろうか。
- 稲本教育部理事兼  
教育施設課長 そうである。
- 渡邊教育委員 学校のトイレが美しくなり、子供たちも快適に過ごしていると思う。美しいトイレを美しいまま維持しようと掃除もがんばってくれることと思う。  
学校によって、仕様が違うのだろうか。トイレの形状からいろいろ違いがあるように思うが、年度によって、あるいは学校によって業者が違うのだろうか。
- 稲本教育部理事兼  
教育施設課長 全面的な改修と部分的な改修、便器と学校から要望のあった内装の部分だけなど、使い分けをしながら、令和7年度までに100%の改修を目指して整備を進めている。今年度までに事業が入らなかった小規模の学校があり、令和8年度以後の改修になることについて、校長先生などに意見を伺った。学校としては急いでほしい、和式から洋便器への改修だけでも進めてもらいたいという意見もあり、このような内容で進めている。
- 渡邊教育委員 八代支援学校の不適格改造とはどのような内容だろうか。
- 稲本教育部理事兼 陶芸室がプレハブの建物であったが、耐震上問題があると

教育施設課長 いう結果が出たため、改築を行ったものである。

田中教育部長 今回のアンケートは、学校の保護者や子供たちから徴取したものであり、本音のデータに近いものである。一方で、市の総合計画等で使う指標、アンケートはランダムに市民の方を選んで、学校の環境や整備についての質問を行うので、学校とは関係のない市民の方の意見もあり、現状が数値に反映されないことがある。現在の総合計画にある数値も同様であるが、頑張って整備を行っているが、思ったより数値に表れない。担当の企画政策課にも説明をしているが、表に出る数値が伸びないというのが実状である。よって、今回の数値が現状に近いものであるということをご理解いただきたい。

丸山教育委員 市の総合計画にある数値に反映されないことについては、こちらからのアピールや周知が不足しているのかもしれない。市報やホームページを利用するのもよいのではないか。

田中教育部長 今年度末で、トイレの洋式化が100%になり、体育館のエアコンの整備もあるので、市報などでアピールをしていきたい。

<報告第22号> 令和6年度八代市学校・子ども教育応援基金事業の取組状況について

押方教育政策課長 八代市議会において、令和6年度決算審査が承認されたため、令和6年度の寄附の状況及び事業について報告するもの。資料により説明

丸山教育委員 ゆめタウンのデジタルサイネージはどこにあるのだろうか。また、返礼品はどのようなものだろうか。

押方教育政策課長 ゆめタウンのデジタルサイネージは、1階の中央エスカレーター横の広いスペースにディスプレイが設置してある。市のイベント等のお知らせも行っており、15秒ほどで画面が切り替わる。昨年度からデジタル推進課が募集を行っているものである。

丸山教育委員 市のお知らせの一つに、寄附の募集についてのお知らせがあるということで理解した。

浦本教育政策課参事 返礼品は、革で作ったキーホルダーである。

澤村教育委員 決算額が189万円であるが、毎年度、同額程度の決算額

になるのだろうか。

押方教育政策課長 毎年度150万円を目途としている。令和5年度は64万4千円と低調であった。毎年度、150万円程度の事業を計画している。

澤村教育委員 残高は1,000万円程であるが、寄附がないと事業ができないということになる。

押方教育政策課長 現在の残高は1,400万円程度である。事業を充実させるために、寄附の募集は積極的に行っていきたい。

渡邊教育委員 デジタル新聞活用事業について、対象校が4校となっているが、どのような経緯でこの4校になったのだろうか。また、結果の概要をみると、利用には適さなかったとあるのが残念である。十分な活用ができなかったということだろうか。

押方教育政策課長 4校を選んだ経緯について、学校にデジタル新聞を使用してみたいかというアンケートを取った結果、ぜひ使ってみてほしいと回答をいただいた4校に試験的に導入し、利用していただいた。導入してみたが、子供たちがデジタル新聞を活用する時間が確保できなかったというのが、学校からの最終的な回答であった。たとえば、小学校2校のログイン回数は239回となっているが、1校で年2回、2校で年4回活用したという状況である。現在、図書館に1社の新聞を配置しているが、全生徒が見るのは難しいと思われるため、タブレットを活用して子供たちが新聞を目にすることができるのではないかと思い、拡大していきたいと考えていたが、利用が少ない状況であった。よって、本予算には移行していない。

下津教育部次長 内外教育という教育の雑誌に掲載された記事で、ある学校で子供の活字離れの解消の取組として利用されていたのがデジタル新聞だった。朝の自習時間に、自分たちで記事を見つけて自由に発表するという取組だった。これにより、読書量や活字に対する興味がわいたという報告があったため、提案し、子ども基金で取り入れてみたが、利用が少なかった。素材があっても、それをどれだけ活用するかは先生方の意識が大事であることを痛感した。

渡邊教育委員 よい取組だと思うが、学校の中で中心となる推進役がいる学校といない学校では、活用の度合いが違ってくるのではないかと思う。

中教育長 なかなか新しい事業が打ち出せないなかで、モデル的な事

業について基金を使って取り組んでいる。うまくいかなかった事業もあるが、いろいろな事業に取り組んでいただきたい。

<報告第23号> 令和8年度八代市学校・子ども教育応援基金事業（案）について

押方教育政策課長 市立小中学校・幼稚園からの要望を踏まえ、提出された教育委員会各課かい事業案をもとに、令和8年度の学校・子ども教育応援基金事業案を決定し、予算要求を行った。  
資料により説明

渡邊教育委員 防災記録・教材制作については、たいへん素晴らしい事業であると思う。これは、教育政策課の職員で制作するのだろうか。

押方教育政策課長 制作は、専門の事業者へ委託する予定としている。

渡邊教育委員 パンフレットの内容はどの程度の分量で、こういった内容が盛り込まれる予定だろうか。

押方教育政策課長 パンフレットと記載しているが、学校で子供たちが書き込みできるような学習教材をイメージしている。画像のQRコードを掲載し、子供たちがタブレットで読み込むと映像を確認できるようにしたいと考えているが、事業者と打ち合わせをしながら考えていきたい。

渡邊教育委員 ぜひ素晴らしいものができることを期待したい。

丸山教育委員 内容としては、学校での災害に限定したものになるのだろうか。それとも八代市の大雨災害全般的なものになるのだろうか。動画や写真の素材はどのようにするのだろうか。

押方教育政策課長 八代市の被災全般についてと、被災した学校の情報も取り入れたい。熊本県などが災害のアーカイブを制作されているので、そういったところからも情報を得たい。

丸山教育委員 防災担当部署ではなく、教育委員会が制作するので、子供たちが学べる教材として工夫すると理解してよろしいか。

押方教育政策課長 教育委員会が制作するという点を踏まえて取り組みたい。

中教育長 公立幼稚園2園の交流会を開くための経費があるが、どのような取組を検討されているか。

加賀学校教育課長 来年度、2園を新設するため、2園の子供たちが交流し、よい関係を築きながら幼稚園教育を充実させたい。2園のつながりを深めていきたいということでの取組である。

浦本教育政策課参事 幼稚園から提出された案は、2園の子供たちが麦島東公園で交流をするというものである。それぞれの幼稚園から麦島東公園までのタクシー代を計上している。

中教育長 園児が全員で集まるのだろうか。

加賀学校教育課長 入園する園児数次第であるが、対象としては全員を考えている。

<報告第24号> 八代市議会令和7年9月定例会について（一般質問要旨・答弁書）【教育委員会関係分】について

田中教育部長 9月定例市議会においては、2人の議員から次の2件の質問があった。資料により説明

① 友枝 和也 議員

・本市における不登校児童生徒への支援及び学習サポートについて

② 橋本 貴喜 議員

・本市における児童生徒の学力について

澤村教育委員 タブレット端末導入と学力の推移について、議員としては、タブレットの導入により学力が低下するのではないかとの認識であったかと思う。学校訪問で授業を見てみると、タブレットをよく活用していると思われる授業では、子供たちの集中力、議論の活発化、興味関心の持続という点では、効果があるのではないかと感じた。もちろん、タブレットを活用しなくても授業がしっかりしたものであれば、学習内容は深まっていく。タブレットを活用しない授業では、どうしても教師主導の講義形式で、子供たちはつまらなさそうにしているように思えた。タブレットを活用したほうが、学力テストの平均偏差値も高いという結果もあるので、タブレットの効果的な活用が進んでいない学校については、頑張っていたきたい。学力テストの結果としては、小学校は毎年、同程度を維持しているが、中学校は少しずつ低下している現状がある。タブレットを効果的に使って、中学校の学力が上向きになってほしい。議会では、学力向上やICT関係の質問が多いので、タブレットを活用した結果、学力が向上してきたという報告ができればよいと思う。

田中教育部長

橋本議員から質問をいただき、打ち合わせをしたなかで、ご自身には中学生の子どもがおられ、タブレットを持って帰ってくるが、タブレットばかり触って学習時間が少ない。自分たちの頃は、ノートにぎっしり書き込みながら覚えたという経験と現在の子供たちの学習のスタイルがずいぶん変わったというところから、タブレットの使い方や学力・学習状況調査の状況を質問されたところだった。タブレットはあくまでもツールであるので、これまでのような資料やノートを使って自分で手書きする方法と両方を使うとお答えしたところである。

渡邊教育委員

意見であるが、今年度は、議会の一般質問や総合教育会議で、くま川教室が取り上げられることが何度かあった。これまではそんなに多くなかった。話題になるということ自体が、くま川教室にとってはよいことであると思っている。認知度を上げていく必要があり、広く市民の皆さんにくま川教室の存在、どのようなところかを知ってもらおうと、子供たちがさらに通いやすくなるのではないかと思う。提案であるが、来年度、広報やつしろなどで、一面を使ってくま川教室を紹介するような取組もよいと思う。

田中教育部長

今回、2人からいただいた質問は、不登校についてと学力向上についてであり、充実した内容であった。くま川教室をはじめとする不登校の児童生徒へ非常に焦点が当たっている。また、市長のマニフェストのなかでも、不登校対策については力を入れていきたいと掲げてある。渡邊委員からご提案いただいた周知については、検討していきたい。新年度の予算要求時期でもあるので、教育委員会としても、新年度は不登校児童生徒への支援を新たに進めていきたいと考える。

<報告第25号> 令和7年度9月補正予算の概要について

下津教育部次長

8月臨時市議会、9月定例会市議会において議決されたものについて、資料により説明

① 8月補正予算（8月22日専決）

- 学用品給与事業（8月豪雨）
- 公立学校施設災害復旧事業（8月豪雨）
- 学校給食施設災害復旧事業（8月豪雨）

② 9月補正予算（9月10日専決）

本補正より災害名を令和7年8月大雨に変更

- 公立学校施設災害復旧事業（8月大雨）
- 学校給食施設災害復旧事業（8月大雨）
- 社会教育施設災害復旧事業（8月大雨）

③ 9月補正予算

- 教育研究校推進事業（小学校）
- 学校給食費負担軽減事業（重点交付金）
- 債務負担行為の設定（新年度に係る契約等に必要なもの）

博物館常駐警備・受付案内・施設管理業務委託

丸山教育委員 松高小学校の補助事業は、3ヶ年計画であるとのことだが、毎年20万円の予算が計上されるのだろうか。

加賀学校教育課長 そうである。

<報告第26号> 令和6年度決算審査における質疑・要望等の概要について

鋤田教育部次長 資料により説明  
橋本徳一郎議員、堀口晃議員、野崎伸也議員、村川清則議員から質疑・要望意見があった。

丸山教育委員 野崎議員から、ICT授業サポート事業へのご意見をいただいているが、私個人としては、ICT授業サポートは必要であり、もっと増やして充実させたほうがよいのではないかと思っている。現段階では、令和10年8月までは10人体制の維持ということであるのだろうか。

押方教育政策課長 サポーターの数については、文部科学省が4校あたり1人という目安を示している。40校を10人でサポートしており、最低限の配置である。令和10年8月までは、この体制を維持する予定である。

丸山教育委員 先生方も助かっていらっしゃる様子が見受けられるので、できれば充実させていただきたい。

5. 連絡事項

<p>学校教育課</p> <p>生涯学習課</p> <p>教育サポートセンター</p>	<p>2学期修業式（12/24）、3学期始業式（1/8）</p> <p>幼稚園2園の園歌、園章について</p> <p>熊本県学力・学習状況調査、八代市学力・学習状況調査（12/1～9のうち2日間）</p> <p>チャレンジングリッシュinやつしろ（12/20 太田郷コミュニティセンター）</p> <p>インフルエンザによる閉鎖状況</p> <p>第16回まなびフェスタやつしろ（12/13 八代市公民館）</p> <p>くま川教室2学期閉級式（12/17）、3学期開級式（1/13）</p> <p>第2回八代市新任研（11/25）</p>
---	--

博物館 文武に生きた筆頭家老・松井家ただいま参上  
(県立美術館 9/30～11/24)  
出前講座 (12/14 お祭りでんでん館)  
事務局 1 2 月定例会日程確認 (12/19 14:00～)

6. 会議録署名委員の指名 丸山委員・澤村委員

7. 閉会 (午後3時56分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

---

---

記録者

---